

お詫びと訂正

会誌 32 巻 2 号:「2024 年度 透析治療を継続させるための災害対策マニュアル (初版)」の P323 と P328 に誤りがありましたので、訂正するとともにお詫び申し上げます。

P 323

誤:

③ 情報発信媒体の把握・確認

マニュアルには「日本透析医会災害時情報ネットワーク (<https://www.saigaitouseki.net/>)」, 地域における情報共有ツールへの入力などについて記載する。

正:

③ 情報発信媒体の把握・確認

マニュアルには「日本透析医会災害時情報ネットワーク (<https://www.saigai-touseki.net/>)」, 地域における情報共有ツールへの入力などについて記載する。

誤: <https://www.saigaitouseki.net/> → 正: <https://www.saigai-touseki.net/>

P 328

① 職員の安否確認と参集確認手順

職員の安否と参集の可否に関する確認手順を決定しておく。

(実例 2)



安否確認

災害が発生した場合は下記の安否確認手段を実施し、安否確認を行って下さい。

① 固定電話、携帯電話による安否確認

責任者(災害担当者)は保管されている「安否確認一覧表」を用いて、電話連絡による透析医療従事者の安否確認を実施し、安否情報を取りまとめてください。透析医療従事者は責任者(災害担当者)からの電話連絡に対応できるよう行動するとともに、②メールによる安否確認」を実施してください。

② メールによる安否確認

災害発生時には、通信規制がかかることも想定されることから、メールの容量を抑えるため、下記のルールに従い「件名」と「本文」に同様の内容を入力し送信して下さい。安否情報のメールは責任者(災害担当者)が受信出来るよう設定し、安否情報を取りまとめられるように調整してください。

安否確認メール送信ルール

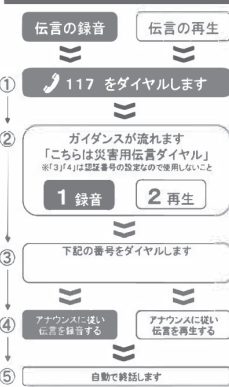
① 氏名	② 状態	③ 状況	
山田太郎	① 無事 ② 軽傷 ③ 重傷	① 出社(帰宅)中 ② 出社(帰宅)可能 ③ 出社(帰宅)不可能	=

送信例)
「山田太郎 12」の場合
山田太郎は、無事で
出社(帰宅)可能。

③ 災害用伝言ダイヤルによる安否確認

透析医療従事者はいずれの手段も利用出来ない場合、最終手段として災害用伝言ダイヤルを利用し、手順に従って自らの安否情報を録音して下さい。災害用伝言ダイヤルに録音した安否情報は責任者(災害担当者)が再生することで、安否情報を取りまとめられるようにしてください。

災害用伝言ダイヤル使用手順



誤

— 328 —

① 職員の安否確認と参集確認手順

職員の安否と参集の可否に関する確認手順を決定しておく。

(実例 2)



安否確認

災害が発生した場合は下記の安否確認手段を実施し、安否確認を行って下さい。

① 固定電話、携帯電話による安否確認

責任者(災害担当者)は保管されている「安否確認一覧表」を用いて、電話連絡による透析医療従事者の安否確認を実施し、安否情報を取りまとめてください。透析医療従事者は責任者(災害担当者)からの電話連絡に対応できるよう行動するとともに、②メールによる安否確認」を実施してください。

② メールによる安否確認

災害発生時には、通信規制がかかることも想定されることから、メールの容量を抑えるため、下記のルールに従い「件名」と「本文」に同様の内容を入力し送信して下さい。安否情報のメールは責任者(災害担当者)が受信出来るよう設定し、安否情報を取りまとめられるように調整してください。

安否確認メール送信ルール

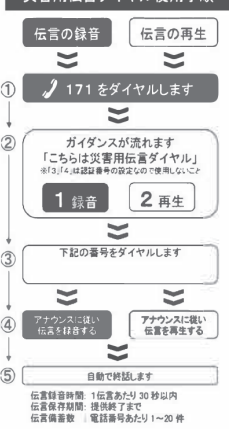
① 氏名	② 状態	③ 状況	
山田太郎	① 無事 ② 軽傷 ③ 重傷	① 出社(帰宅)中 ② 出社(帰宅)可能 ③ 出社(帰宅)不可能	=

送信例)
「山田太郎 12」の場合
山田太郎は、無事で
出社(帰宅)可能。

③ 災害用伝言ダイヤルによる安否確認

透析医療従事者はいずれの手段も利用出来ない場合、最終手段として災害用伝言ダイヤルを利用し、手順に従って自らの安否情報を録音して下さい。災害用伝言ダイヤルに録音した安否情報は責任者(災害担当者)が再生することで、安否情報を取りまとめられるようにしてください。

災害用伝言ダイヤル使用手順



正

— 328 —

① 職員の安否確認と参集確認手順 (実例 2)

災害用伝言ダイヤル使用手順 ①災害用伝言ダイヤルの番号 (図中)

誤: 117 → 正: 171